

表 5. 最終診断の生物・心理・社会分類(ドクターショッピング群)

生物・心理・社会	名(%)
生物	139(68.5)
心理・社会	64(31.5)

n=203

表 6. 受診 3 ヶ月後の当部受診時の症状の変化(ドクターショッピング群)

	名(%)
良くなった	75(54.3)
変わらない	53(38.4)
悪くなった	10(7.2)

n=138

表 7. 受診 3 ヶ月後の当部受診時の症状の変化(ドクターショッピング群)

	名(%)
受診していない	44(31.9)
以前かかりつけ医に受診している	36(26.1)
当部から紹介された医療機関に受診している	33(23.9)
新たな医療機関に受診している	25(18.1)

n=138

表 8. ドクターショッピング継続群の当部受診後医療機関数(ドクターショッピング群)

医療機関数	名(%)
1	17(68.0)
2	2(8.0)
3	4(16.0)
4	1(4.0)
5	1(4.0)

n=25

表 9. ドクターショッピング継続群の医療機関種類別集計(ドクターショッピング群)

医療機関の種類	医療機関数	名(%)
診療所	1	8(32.0)
	2	2(8.0)
		10(40.0)
病院	1	9(36.0)
	2	1(4.0)
	3	2(8.0)
	4	1(4.0)
		13(52.0)
大学病院	1	8(32.0)
		8(32.0)

n=25

表 10. ドクターショッピング継続群が受診した医療機関の組合せ(ドクターショッピング群)

医療機関の種類	名(%)
診療所と病院	9(40.0)
病院のみ	7(28.0)
診療所のみ	5(20.0)
診療所と大学病院	2(8.0)
病院と大学病院	1(4.0)
すべて	1(4.0)
大学病院のみ	0(0)

n=25

表11. 患者背景と受診後受療行動との関係(ドクターショッピング群)

		ドクターショッピング	ドクターショッピング	χ^2
		継続群(n=25)	終息群(n=113)	
		名(%)	名(%)	
性別	男性	10(40.0)	44(38.9)	0.01, P=0.92
	女性	15(60.0)	69(61.1)	
年齢	20~29歳	2(8.0)	13(11.5)	1.93, P=0.93
	30~39歳	3(12.0)	21(18.6)	
	40~49歳	5(20.0)	15(13.3)	
	50~59歳	4(16.0)	25(22.1)	
	60~69歳	6(24.0)	19(16.8)	
	70~79歳	2(8.0)	15(13.3)	
	80~89歳	3(12.0)	5(4.4)	
職業	有	12(48.0)	55(48.7)	0.95, P=1.00
	無	13(52.0)	58(51.3)	
最終学歴	義務教育まで	3(12.0)	13(11.5)	0.94, P=1.00
	高卒以上	22(88.0)	100(88.5)	
配偶者	有	15(60.0)	71(62.8)	0.79, P=0.82
	無	10(40.0)	42(37.2)	
具体的に心配な病気	有	12(48.0)	61(54.0)	0.59, P=0.66
	無	13(52.0)	52(46.0)	
自分の症状・病気の診断・治療は大学病院以外では難しいと思うか	はい	17(68.0)	60(53.1)	1.82, P=0.39
	いいえ	7(28.0)	45(39.8)	
	わからない	1(4.0)	8(7.1)	
症状の改善と原因の解明どちらが重要か	症状の改善	14(56.0)	47(41.6)	2.81, P=0.25
	原因の解明	5(20.0)	42(37.2)	
	わからない	6(24.0)	24(21.2)	
大学病院で大丈夫と言われたら安心するか	はい	18(72.0)	74(65.5)	1.08, P=0.58
	いいえ	1(4.0)	12(10.6)	
	わからない	6(24.0)	27(23.9)	
周囲の人に比べて健康について気にする方か	はい	15(60.0)	60(53.1)	0.40, P=0.82
	いいえ	6(24.0)	31(27.4)	
	わからない	4(16.0)	22(19.5)	
当部受診理由	症状が改善しない	17(68.0)	75(66.4)	8.17, P=0.86
	前の医療機関で異常ありといわれたから	0(0)	4(3.5)	
	前の医療機関で異常なしといわれたが不安	2(8.0)	23(20.4)	
	医師の勧め	1(4.0)	5(4.4)	
	医師以外の勧め	5(20.0)	6(5.3)	

**P<0.01, *P<0.05

表12. 疾病状態と受診後受療行動(ドクターショッピング群)

		ドクターショッピング継続群 (n=25)	ドクターショッピング終息群 (n=113)	χ^2
		名(%)	名(%)	
有症期間	<1ヶ月	3(12.0)	29(25.7)	6.58, P=0.16
	1ヶ月<3ヶ月	8(32.0)	23(20.4)	
	3ヶ月<6ヶ月	1(4.0)	16(14.2)	
	6ヶ月<1年	1(4.0)	9(8.0)	
	1年 \leq	12(48.0)	36(31.9)	
受診前の症状変化	良くなっている	0(0)	7(6.2)	2.04, P=0.36
	変わらない	11(44.0)	54(47.8)	
	悪くなっている	14(56.0)	52(46.0)	
かかりつけ医および当 部受診前のかかりつけ 医受診	かかりつけ医有・ 受診有	13(52.0)	59(52.2)	1.10, P=0.58
	かかりつけ医有・ 受診無	3(12.0)	5(4.4)	
	かかりつけ医無	9(36.0)	49(43.4)	
前医の説明	納得した	5(20.0)	26(23.0)	0.11, P=1.00
	納得できなかった	20(80.0)	87(77.0)	
前医の診断・治療に対 する不安	有	4(16.0)	18(15.9)	0.00, P=0.99
	無	21(84.0)	95(84.1)	
受診後の症状変化 *	良くなった	6(24.0)	69(61.1)	11.33, P=0.03
	変わらない	16(64.0)	37(32.7)	
	悪くなった	3(12.0)	7(6.2)	

**P<0.01, *P<0.05

表13. 最終診断、受診の必要性、転帰および満足度と受診後受療行動との関係(ドクターショッピング群)

		ドクターショッピング継続 群(n=25)	ドクターショッピング終息 群(n=113)	χ^2
		名(%)	名(%)	
最終診断 (ICPC-2分類)	A: 全身および部位を特定できないもの	1(4.0)	4(3.5)	15.51, P=0.28
	B: 血液	0(0)	1(0.9)	
	D: 消化器	5(20.0)	13(11.5)	
	F: 眼	0(0)	1(0.9)	
	H: 耳	1(4.0)	2(1.8)	
	K: 循環器	0(0)	4(3.5)	
	L: 筋骨格	5(20.0)	9(8.0)	
	N: 神経	2(8.0)	11(9.7)	
	P: 心理・精神	11(44.0)	32(28.3)	
	R: 呼吸器	0(0)	22(19.5)	
	S: 皮膚	0(0)	3(2.7)	
	T: 代謝・内分泌・栄養	0(0)	6(5.3)	
	U: 泌尿器	0(0)	4(3.5)	
	W: 妊娠・育児・家族計画	0(0)	0(0)	
	X: 女性性器(乳房を含む)	0(0)	0(0)	
	Y: 男性性器	0(0)	1(0.9)	
	Z: 社会問題	0(0)	0(0)	
最終診断	生物	14(56.0)	83(73.5)	3.07, P=0.22
(生物・心理・社会)	心理・社会	11(44.0)	30(26.6)	
受診の必要性	前医と診断が異なる	6(24.0)	36(31.9)	0.81, P=0.67
	前医の診断と変わらず、近医で様子を見ればよい	15(60.0)	57(50.4)	
	専門医の診断・治療が必要	4(16.0)	20(17.7)	
転帰	院内専門診療科	2(8.0)	28(24.8)	9.05, P=0.06
	院外専門診療科	0(0)	7(6.2)	
	前医・以前からのかかりつけ医	18(72.0)	46(40.7)	
	新たなかかりつけ医	2(8.0)	13(11.5)	
	終診	3(12.0)	19(16.8)	
当部診療への満足	大変満足	1(4.0)	25(22.1)	21.9, P<0.001
	満足	9(36.0)	51(45.1)	
	どちらでもない	4(16.0)	23(20.4)	
	不満	2(8.0)	8(7.1)	
	大変不満	9(36.0)	6(5.3)	
		ドクターショッピング継続 群(n=10)	ドクターショッピング終息 群(n=76)	χ^2
		名(%)	名(%)	
大変満足・満足の理由	診断がついた	2(8.0)	19(16.8)	2.48, P=0.65
	説明に納得した	3(12.0)	28(24.8)	
	症状が改善した	1(4.0)	18(14.2)	
	大学病院でみてもらい安心した	4(16.0)	11(9.7)	
	その他	0(0)	2(1.8)	
		ドクターショッピング継続 群(n=15)	ドクターショッピング終息 群(n=37)	χ^2
		名(%)	名(%)	
どちらでもない・不満・大変不満の理由	診断がつかなかった	3(12.0)	4(3.5)	0.62, P=0.96
	説明に納得できなかった	1(4.0)	4(3.5)	
	症状が良くならない	5(20.0)	12(10.6)	
	あきらめた	1(4.0)	7(6.2)	
	その他	5(20.0)	10(8.9)	

**P<0.01, *P<0.05

表 14. 満足度の理由(その他)の主な内容(ドクターショッピング群)

	ドクターショッピング継続群	ドクターショッピング終息群
どちらでもない・不満・大変不満	院外に紹介された 当部医師に治す気がない 前医から紹介状をもらってくるよう言われた 複数の医師に問診され尋問を受けているようだった	当院の希望受診専門科に受診できなかった 希望通りの診療を受けられなかった 当院以外の医療機関を紹介された

表15. 同意を得られなかった患者

年齢	性別	最終診断	ICPC-2
28	男	緊張型頭痛	N
29	女	機能性胃腸症	D
22	男	特発性色素性紫斑	S
22	女	間質性肺炎	U
66	女	正常範囲	A
21	女	片頭痛	N
34	男	生理的吃逆	R
55	男	炎症性腸疾患	D
24	女	パニック障害	P
27	男	気管支喘息	R
27	男	パニック障害	P
25	男	機能性胃腸症	D
28	女	腸胃リンパ膜炎	B
27	女	中間出血	W
29	男	急性副鼻腔炎	R
48	男	妄想症	P
29	男	不安障害	P
19	男	炎症性腸疾患	D
34	女	慢性胃炎	U
31	男	好酸球性筋膜炎	L
76	男	冷え性	A
44	女	正常範囲	A
60	男	頸椎症	L
44	男	頸椎症	L
50	女	胃食道逆流症	D
35	男	不安障害	P
22	男	パニック障害	P
54	男	中枢神経系病	N
26	男	筋肉痛	L
44	男	頸椎症	L
28	女	生理的範囲内	A
29	女	普通感冒	R
33	男	睡眠時無呼吸症候群	P
27	女	恐怖症	P
56	女	甲状腺機能低下症	T
69	男	心不全	K
71	男	乾性角膜炎	A
26	男	気管支喘息	R
24	男	急性胃腸炎	D
26	女	百日咳	R
62	女	心気症	P
34	男	溶連菌性咽頭炎	R
29	女	潰瘍性大腸炎	D
23	男	普通感冒	R
27	男	急性胃腸炎	D
23	男	急性胃腸炎	D
30	女	普通感冒	R
32	女	身体表現性障害	P
63	男	膝蓋皮神経痛	L
35	男	睡眠時無呼吸症候群	P
25	男	PBCS	A
66	女	急性胃腸炎	D
32	男	咳嗽	R
32	男	けいれん	N
21	男	うつ病性障害	P
60	女	パニック障害	P
71	女	うつ病性障害	P
21	女	緊張型頭痛	N

年齢	性別	最終診断	ICPC-2
56	男	精英脳症	Y
38	男	一過性虚脱	D
26	男	身体化障害	P
33	女	片頭痛	N
47	女	脳神経痛	N
34	男	緊張型頭痛	N
49	女	帯状疱疹	S
31	男	正常範囲内	A
56	女	急性副鼻腔炎	R
53	女	胃潰瘍	D
25	女	PBCS	A
38	男	慢性湿疹	S
26	女	肋軟骨炎	L
19	女	急性胃腸炎	D
39	男	慢性肺炎	D
20	女	不整脈	K
24	男	急性胃腸炎	D
48	女	うつ病性障害	P
23	女	片頭痛	N
29	男	急性咽喉炎	R
27	女	不安障害	P
27	男	睡眠時無呼吸症候群	P
38	女	正常範囲	A
27	男	化膿性リンパ膜炎	B
68	男	良性発作性顔位めまい症	H
32	男	発作性上室性頻拍	K
22	女	不安障害	P
52	女	甲状腺腫瘍	T
58	男	正常範囲	A
20	男	急性胃腸炎	D
46	女	関節リウマチ	L
34	女	習慣性流産	W
45	男	過敏性腸症候群	D
80	男	急性気管支炎	R
47	女	良性発作性顔位めまい症	H
23	男	胸椎神経根障害	L
23	女	パセドウ病	T
29	男	普通感冒	R
20	男	統合失調症	P
17	女	後頭神経痛	N
25	女	パセドウ病	T
29	男	正常範囲	A
28	男	正常範囲	A
17	男	炎症性腸疾患	D
44	男	前庭神経炎	H
24	男	インフルエンザA型	A
35	男	腎結石	R
48	女	便秘症	D
32	男	パニック障害	P
35	女	橋本病	T
22	女	普通感冒	R
27	女	鉄欠乏貧血	B
25	女	PBCS	A
27	男	I度閉塞ブロック	K
55	男	胃食道逆流症	D
25	男	腸洗浄による外傷	D
66	男	左鼠径ヘルニア	D
21	女	腸胃リンパ膜炎	B

表 16. 同意を得られなかった患者の最終診断(ICPC-2 分類)

ICPC-2 コード	名(%)
A: 全身および部位を特定できないもの	14(12.1)
B: 血液	4(3.4)
D: 消化器	22(19.0)
F: 眼	0(0)
H: 耳	3(2.6)
K: 循環器	4(3.4)
L: 筋骨格	9(7.8)
N: 神経	10(8.6)
P: 心理、精神	21(18.1)
R: 呼吸器	16(13.8)
S: 皮膚	3(2.6)
T: 代謝・内分泌・栄養	5(4.3)
U: 泌尿器	2(1.7)
W: 妊娠、育児、家族計画	2(1.7)
X: 女性性器(乳房を含む)	0(0)
Y: 男性性器	1(0.9)
Z: 社会問題	0(0)

表 17. 同意を得られなかった患者の最終診断(生物・心理・社会的分類)

分類	名(%)
生物	95(81.9)
心理・社会	21(18.1)

表 18. 前医 1 の当部受診前医療機関(ハイリスク群)

医療機関の種類	名(%)
診療所	107(46.9)
病院	103(45.2)
大学病院	18(7.9)

n=228

表 19. 最終診断の ICPC-2 分類(ハイリスク群)

ICPC-2 コード	名(%)
A:全身および部位を特定できないもの	25(5.6)
B:血液	6(1.3)
D:消化器	91(20.4)
F:眼	0(0)
H:耳	13(2.9)
K:循環器	33(7.4)
L:筋骨格	67(15.1)
N:神経	43(9.7)
P:心理、精神	61(13.7)
R:呼吸器	57(12.8)
S:皮膚	14(3.1)
T:代謝・内分泌・栄養	17(3.8)
U:泌尿器	12(2.7)
W:妊娠、育児、家族計画	0(0)
X:女性性器(乳房を含む)	4(0.9)
Y:男性性器	1(0.2)
Z:社会問題	1(0.2)

n=445

表 20. 最終診断の生物・心理・社会分類(ハイリスク群)

生物・心理・社会	名(%)
生物	384(86.3)
心理・社会	61(13.7)

n=445

表 21. 受診 3 ヶ月後の当部受診時の症状の変化(ハイリスク群)

	名(%)
良くなった	175(64.6)
変わらない	86(31.7)
悪くなった	10(3.7)

n=271

表 22. 受診 3 ヶ月後の当部受診時の症状の変化(ハイリスク群)

	名(%)
受診していない	127(46.9)
以前かかりつけ医に受診している	59(21.8)
当部から紹介された医療機関に受診している	54(19.9)
新たな医療機関に受診している	31(11.4)

n=271

表 23. 受診後ドクターショッピング群の当部受診後医療機関数(ハイリスク群)

医療機関数	名(%)
1	23(74.2)
2	8(25.8)

n=31

表 24. 受診後ドクターショッピング群の医療機関種類別集計(ハイリスク群)

医療機関の種類	医療機関数	名(%)
診療所	1	13(41.9)
	2	2(6.5)
病院		15(48.4)
	1	10(32.2)
	2	2(6.5)
		12(38.7)
大学病院	1	8(25.8)
		8(25.8)

n=31

表 25. 受診後ドクターショッピング群が受診した医療機関の組合せ(ハイリスク群)

医療機関の種類	名(%)
診療所のみ	12(38.7)
病院のみ	10(32.2)
大学病院のみ	5(16.1)
診療所と病院	2(6.5)
診療所と大学病院	2(6.5)
病院と大学病院	0(0)
すべて	0(0)

n=31

表26. 患者背景と受診後受療行動との関係(ハイリスク群)

		受診後ドクター ショッピング群 (n=31) 名(%)	それ以外の群 (n=240) 名(%)	χ^2
性別	男性	14(45.2)	114(47.5)	0.06, P=0.81
	女性	17(54.8)	126(52.5)	
年齢	15~19歳	0(0)	4(1.7)	4.40, P=0.73
	20~29歳	3(9.7)	22(9.2)	
	30~39歳	2(6.4)	27(11.2)	
	40~49歳	7(22.6)	29(12.1)	
	50~59歳	10(32.3)	50(20.8)	
	60~69歳	7(22.6)	61(25.4)	
	70~79歳	2(6.4)	36(15.0)	
職業	有	16(51.6)	124(51.7)	0.00, P=1.00
	無	15(48.4)	116(48.3)	
最終学歴	義務教育まで	3(9.7)	36(15.0)	0.63, P=0.43
	高卒以上	28(90.3)	204(85.0)	
配偶者	有	24(77.4)	184(76.7)	0.01, P=0.93
	無	7(22.6)	56(23.3)	
具体的に心配な病気	有	15(48.4)	140(58.3)	1.11, P=0.29
	無	16(51.6)	100(41.7)	
自分の症状・病気の 診断・治療は大学病 院以外では難しいと 思うか	はい	13(41.9)	59(24.6)	3.33, P=0.10
	いいえ	1(3.2)	20(8.3)	
	わからない	17(54.8)	161(67.1)	
症状の改善と原因の 解明どちらが重要か	症状の改善	19(61.3)	97(40.4)	4.18, P=0.12
	原因の解明	8(25.8)	78(32.5)	
	わからない	4(12.9)	65(27.1)	
大学病院で大丈夫と 言われたら安心する か	はい	25(80.6)	193(80.4)	0.02, P=0.99
	いいえ	1(3.2)	4(1.7)	
	わからない	5(16.1)	43(17.9)	
周囲の人に比べて健 康について気にする 方か	はい	18(58.1)	135(56.3)	0.44, P=0.80
	いいえ	6(19.4)	63(26.3)	
	わからない	7(22.6)	42(17.5)	
当部受診理由	症状が改善しない	22(71.0)	161(67.1)	1.46, P=0.83
	前の医療機関で異常ありといわれた から	4(12.9)	17(7.1)	
	前の医療機関で異常なしといわれた が不安	1(3.2)	16(6.7)	
	医師の勧め	0(0)	13(5.4)	
	医師以外の勧め	4(12.9)	33(13.8)	

**P<0.01, *P<0.05

表27. 疾病状態と受診後受療行動(ハイリスク群)

		受診後ドクター ショッピング群 (n=31)	それ以外の群 (n=240)	χ^2
		名(%)	名(%)	
有症期間**	<1ヶ月	9(29.0)	131(54.6)	24.5, P<0.01
	1ヶ月<3ヶ月	10(32.3)	33(13.8)	
	3ヶ月<6ヶ月	3(9.7)	13(5.4)	
	6ヶ月<1年	1(3.2)	16(6.7)	
	1年 \leq	8(25.8)	47(19.6)	
受診前の症状変化	良くなっている	2(6.5)	20(8.3)	5.44, P=0.07
	変わらない	10(32.3)	130(54.2)	
	悪くなっている	19(61.3)	90(37.5)	
かかりつけ医の有無	有	16(51.6)	98(40.8)	1.31, P=0.25
	無	15(48.4)	142(59.2)	
受診後の症状変化*	良くなった	12(38.7)	163(67.9)	8.40, P=0.01
	変わらない	17(54.8)	69(28.8)	
	悪くなった	2(6.5)	8(3.3)	
		「新たな医療機 関を受診してい る」群(n=22)	それ以外の群 (n=127)	χ^2
		名(%)	名(%)	
前医の説明	納得した	2(9.1)	31(24.4)	1.78, P=0.18
	納得できなかった	20(90.9)	96(75.6)	
前医の診断・治療に対 する不安	有	19(86.4)	106(83.5)	0.00, P=0.98
	無	3(13.6)	21(16.5)	

**P<0.01, *P<0.05

注:「前医の説明」、「前医の診断・治療に対する不安」は、前医が1箇所ある患者のみ
 (「新たな医療機関を受診している群」:n=16,「それ以外の群」:n=99)

表28. 最終診断、受診の必要性、転帰および満足度と受診後受療行動との関係(ハイリスク群)

		受診後ドクター ショッピング群 (n=31)	それ以外の群 (n=240)	χ^2
		名(%)	名(%)	
最終診断 (ICPC-2分類)	A: 全身および部位を特定できないもの	0(0)	17(7.1)	20.03, P=0.13
	B: 血液	0(0)	4(1.7)	
	D: 消化器	6(19.4)	52(21.7)	
	F: 眼	0(0)	0(0)	
	H: 耳	0(0)	10(4.2)	
	K: 循環器	3(9.7)	18(7.5)	
	L: 筋骨格	4(12.9)	38(15.8)	
	N: 神経	1(3.2)	28(11.7)	
	P: 心理、精神	7(22.6)	27(11.3)	
	R: 呼吸器	5(16.1)	26(10.8)	
	S: 皮膚	1(3.2)	7(2.9)	
	T: 代謝・内分泌・栄養	2(6.5)	5(2.1)	
	U: 泌尿器	1(3.2)	5(2.1)	
	W: 妊娠、育児、家族計画	0(0)	0(0)	
	X: 女性性器(乳房を含む)	0(0)	2(0.8)	
Y: 男性性器	1(3.2)	0(0)		
Z: 社会問題	0(0)	1(0.4)		
最終診断 (生物・心理・社会的分類)	生物	24(77.4)	213(88.7)	2.26, P=0.13
	心理・社会	7(22.6)	27(11.3)	
受診の必要性	前医と診断が異なる	9(29.0)	39(16.3)	2.15, P=0.34
	前医の診断と変わらず、近医で様子を見ればよい	19(61.3)	168(70.0)	
	専門医の診断・治療が必要	3(9.7)	33(13.8)	
転帰	院内専門診療科	4(12.9)	46(19.2)	4.43, P=0.35
	院外専門診療科	4(12.9)	18(7.5)	
	前医・以前からのかかりつけ医	16(51.6)	80(33.3)	
	新たなかかりつけ医	4(12.9)	44(18.3)	
	終診	3(9.7)	52(21.7)	
当部診療への満足度**	大変満足	3(9.7)	56(20.7)	44.27, P<0.001
	満足	7(22.6)	135(56.3)	
	どちらでもない	4(12.9)	29(12.1)	
	不満	10(32.3)	13(5.4)	
	大変不満	7(22.6)	7(2.6)	
		受診後ドクター ショッピング群 (n=10)	それ以外の群 (n=191)	χ^2
		名(%)	名(%)	
大変満足・満足の理由	診断がついた	2(20.0)	20(10.5)	1.59, P=0.81
	説明に納得した	4(40.0)	79(41.4)	
	症状が改善した	0(0)	39(20.4)	
	大学病院でみてもらい安心した	3(30.0)	49(25.7)	
	その他	1(10.0)	4(2.1)	
		受診後ドクター ショッピング群 (n=21)	それ以外の群 (n=49)	χ^2
		名(%)	名(%)	
どちらでもない・不満・大変 不満の理由	診断がつかなかった	5(23.8)	12(25.0)	3.23, P=0.52
	説明に納得できなかった	7(33.3)	9(18.8)	
	症状が良くならない	4(19.0)	9(18.8)	
	あきらめた	3(14.3)	3(6.3)	
	その他	2(9.5)	15(31.3)	

**P<0.01, *P<0.05

表 29. 満足度の理由(その他)の主な内容(ハイリスク群)

大変満足・満足	「新たな医療機関に受診している」群	「それ以外」の群
	何人もの医師に親切に診察してもらったから	詳しく診てもらった 院内紹介先で診断がついた 受診希望診療科に紹介してもらえた 長い時間をかけ、話を聞いてくれた
どちらでもない・ 不満・大変不満	以前から通院している病院への通院を続けるよう言われた。受診希望診療科に紹介してもらえなかった。	目的とする医師の診察を受けられなかった 希望の診察をしてくれなかった 当院専門診療科に紹介してもらえなかった 検査してもらえなかった 初診時と再診時の担当医師が違った 専門医を紹介してもらえなかった 専門診療科に紹介してもらえなかった。 当院に継続通院したかった 特に問題ないとのことなので かかりつけ医に紹介されたため (急性腸炎)の原因がわからなかった 医師の熱心な態度には満足だが、前医に戻るよう言われ、気分的に落ち込んだ。 MRIをとって欲しかった。希望したのにとってもらえなかった。 紹介状が必要だということを広く世間にお知らせ下さい。 記載なし

